



## はじめに

でいあーでは、発達障害のある大人（疑いを含む）を対象とした2つの当事者会（\*1）[ならサタ]と[WITH]を月1回のペースで開催している。本研究では、[ならサタ（\*2）]の参加者を対象にアンケートを行い、当事者会に期待することや感じていること、会の進め方などについての意見を聞き、当事者会のあり方や課題を調査し、安心して参加できる当事者活動となるように検討していった。

### \*1「当事者会」とは…

発達障害のある人たちが集まり、障害特有の困り事や悩みを共有することで、個々が持つ「生きづらさ」を少しでも解消・緩和することを目的としている。また、安心して話せる場所があることや同じ立場の仲間が存在を感じることができる。

### \*ならサタの主な参加者は…

- ◆発達障害（疑いを含む）の大人とその家族。\*家族は見学のみ。
- ◆20代～50代と幅広い年齢層。（女性＜男性）
- ◆事業所や障害者雇用などで働いている人が多い。

### \*2[ならサタ]について…

- 設立…2019年3月からスタート
- 開催日…第4土曜日の午前中（奈良市内で会場手配）
- 開催方法…新型コロナ感染拡大に伴い、オンラインと現地会場とのハイブリット形式
- 参加人数…現地+オンラインで15～20名程度
- スタッフ…でいあー3名、吉田病院心理士2名

10:00	開始 アイスブレイク:スタッフより話題提供
10:10	フリートーク:参加者から関心事や本の紹介など情報提供を行う。
10:50	休憩
11:00	テーマトーク:3月・9月に参加者同士でテーマを決め、各月で話し合う。
12:00	終了

## 目的・方法

**目的：参加者の意見を聞き、今後の当事者活動をよりよいものにしていく。**

**方法：**・対象者…ならサタに登録のある77名と、当日の現地会場の参加者

・実施方法…①現地参加者にアンケート用紙の配布 ②GoogleフォームのアンケートのURLをメールで送信

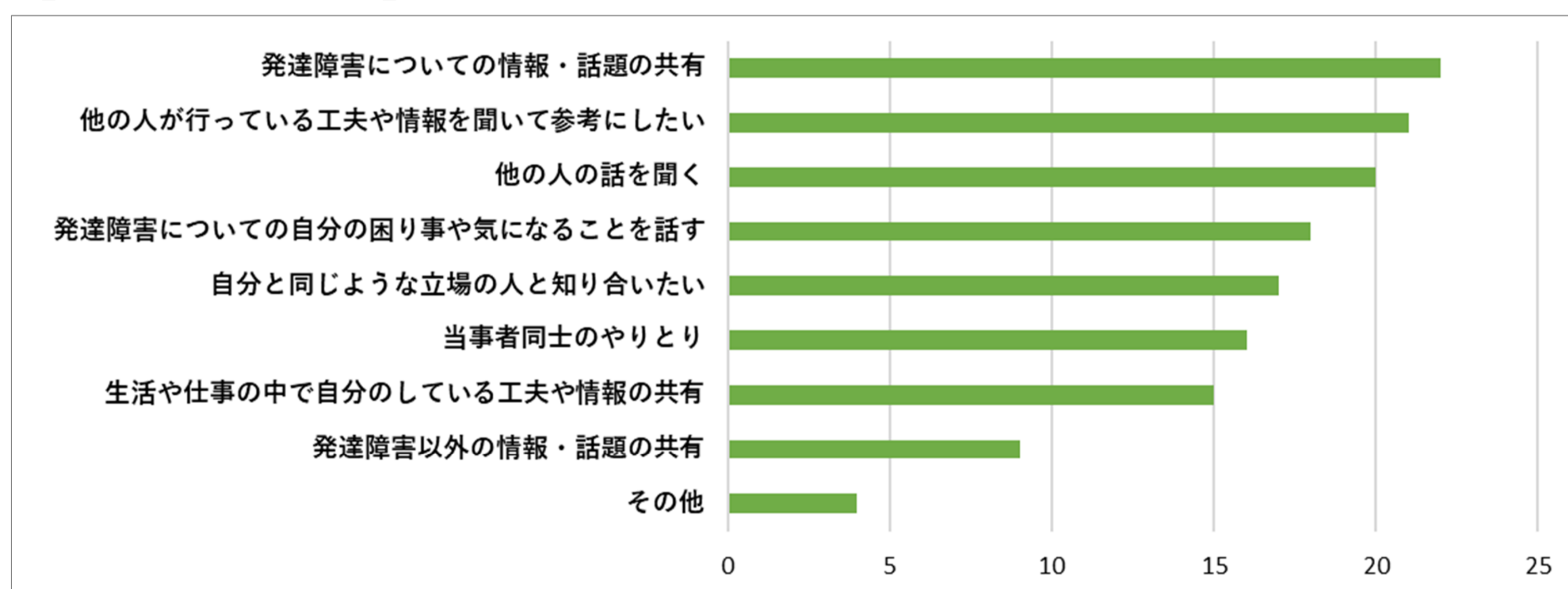
・アンケートの実施期間と内容…2022年9月～11月

- ①属性：年齢/性別/現在の仕事の状況/参加回数/参加する目的
- ②開催方法：開催頻度/参加人数/開催方法/フリートーク/テーマトーク/参加者同士のやりとり/スタッフの対応
- ③自由記述：ならサタに参加すること/自分が話をする事/他の人の話を聞くこと/あなたにとってならサタとは
- ④今後のならサタについて：今後も参加したいか/意見・要望など



## 結果 回答者:34名(男性21名、女性13名)

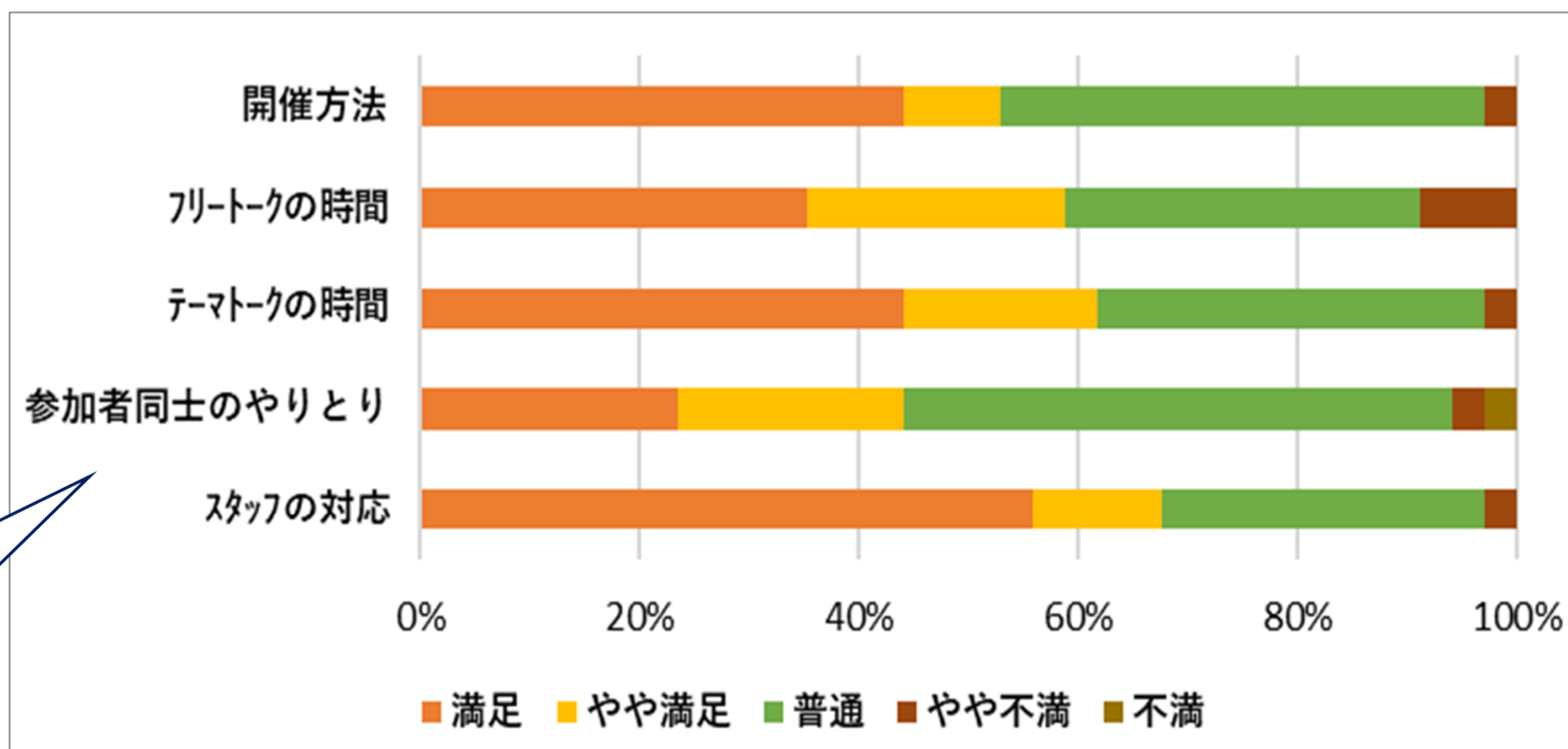
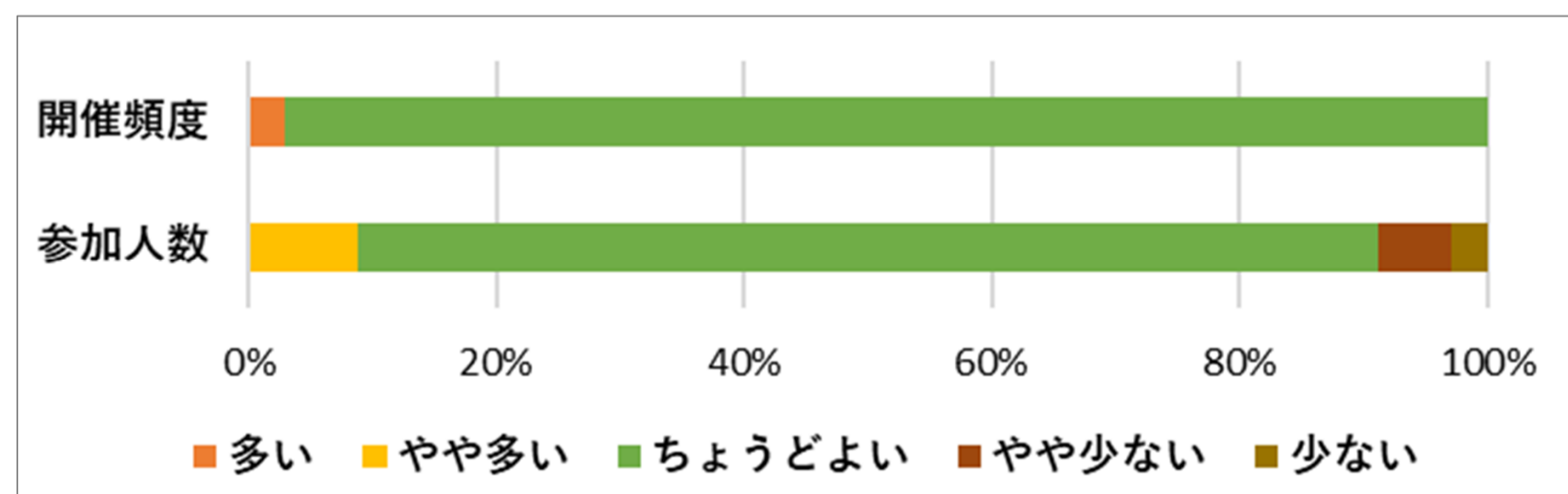
### 【参加する目的】 \*複数回答



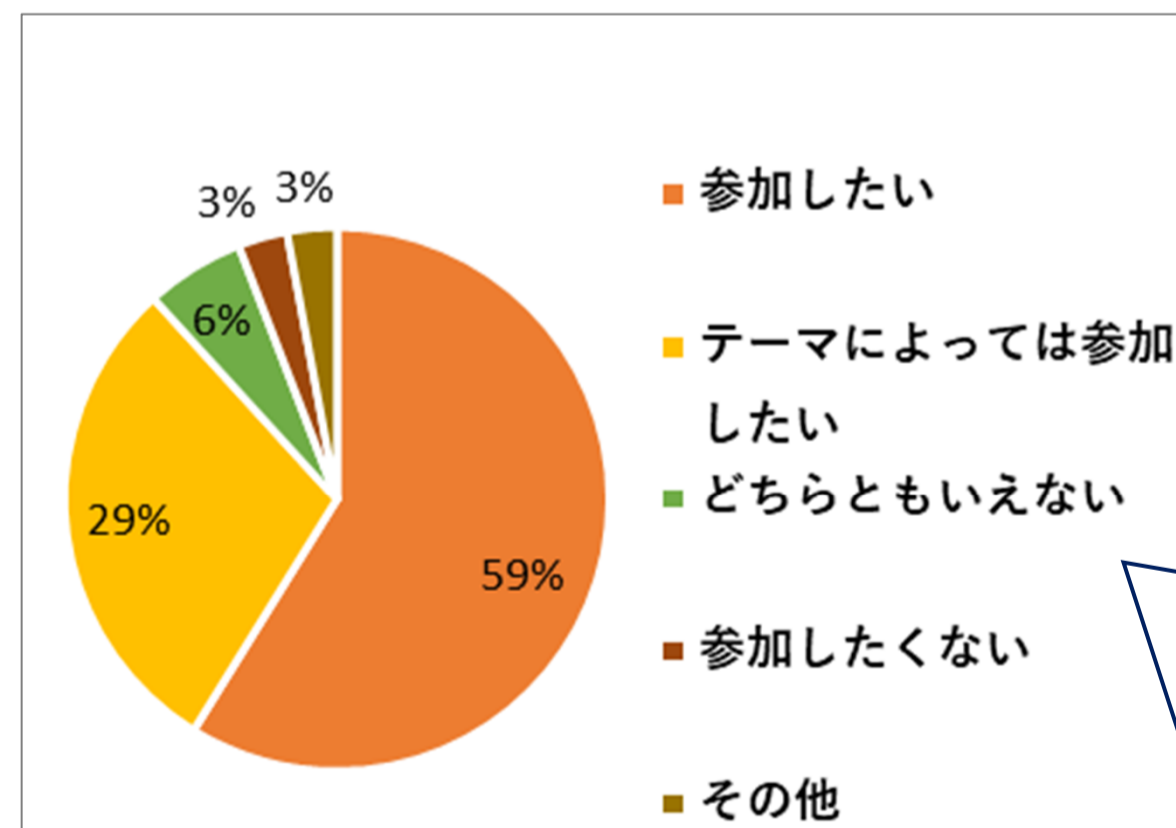
### 【自由記述より】

質問項目	まとめ
1. ならサタに参加することは？	新しい情報や学びを得られ、家族以外の人と話すことができ、本音で話せる交流の場となっている。
2. 自分が話をすることは？	勇気がいり難しさもあるが、話せる人にとってはストレス発散や気分が楽になり、自分自身の気づきの確認になる。
3. 他の人の話を聞くことは？	勉強・参考になる有意義な時間であり、自分だけが悩んでいるのではないと気が楽になる。
4. あなたにとって[ならサタ]とは？	勉強・情報共有の場、自分らしくいられる居場所で、参加できなくても続いてくれている場所。

### 【開催方法について】



### 【今後の参加について】



・約6割の人が[今後も参加したい]、3割の人が[テーマによっては参加したい]という結果で、**9割の人が参加を希望**していることが分かった。

・その他の意見としては、**家族のみの参加を希望**されている。

どの項目に対しても、**9割以上の参加者が現状に不満がない**ことが明らかになった。

## 考察・今後の方針と課題

参加者の多くの目的が「発達障害についての情報・話題の共有をしたい」「他の人が行っている工夫や情報を聞いて参加したい」という結果であった。⇒参加者のニーズに応えるために、「①発達障害に関する情報提供」「②他の人のエピソードや工夫の共有できる時間の提供」を今後も継続して行っていく。

開催方法は33名が現状に満足～普通と回答しており、現地会場とオンラインでのハイブリッド形式で行うことの有用性が見られた。⇒**コロナ禍でも継続して開催することができた**。また、オンライン参加があることで、時間の都合がつきやすく参加しやすいという意見もあり、**参加方法の選択肢があることのメリット**があるため、コロナが収束した後もこの形式を継続してもいいかもしれない。

他者の話を聞くことにはポジティブな意見が多いが、参加回数の少ない人や話すことの苦手な人にとっては、人前で話すことへの緊張や難しさが窺えた。また、本人の参加が難しいケースもあるため、家族のみの参加の必要性も感じられた。⇒安心して参加できる活動にするために、「**話しても、話さなくてもOK/聞くだけOK**」「**家族のみの参加も可能**」など、ならサタのルールを**全体で共有**し、参加者が納得できるようにしていく。

実施方法の中で[やや不満・不満]の内容として、「フリートークの時間設定」や「話す人の発言時間の長さ」があげられており、今後の課題として考えられる。⇒スタッフが時間のコントロールをしていくこと、**運営に関して参加者からの意見に対しては、その都度話し合いながら参加者と一緒に解決**していく。

★今回のアンケートを通して、参加者の思いを聞くことができ、当事者会が求められている活動であることが明確になった。今後も自分のタイミングでいつでも安心して参加できる場として、上記の結果を踏まえ、よりよい当事者活動を続けていきたい。